
「日台大学生オンライン座談会」を実施し、日本と台湾の学生が身近なテーマで意見を交わしました。(対日理解促進交流プログラム「JENESYS2020」(台湾事業))

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2020」の一環として、日本と台湾の大学生・大学院生がグループディスカッションを通じて相互理解を深めることを目的とした「日台大学生オンライン座談会」が2021年7月7日(水)、7月9日(金)に開催されました。将来のキャリアや恋愛・結婚観といった若者世代が身近に感じられるテーマを設定し、日台の参加者が文化や価値観などさまざまな視点から活発に意見を交わしました。

【開催概要】

実施日：第1回 2021年7月7日(水) 日本時間 19:00～／台湾時間 18:00～

テーマ「将来のキャリアについての希望とその理由」

第2回 2021年7月9日(金) 日本時間 19:00～／台湾時間 18:00～

テーマ「わたしたちの恋愛観と結婚観」

参加者：計24名(台湾の大学・大学院生12名、日本の大学・大学院生12名)

新型コロナウイルスの影響により渡航制限が続く状況を踏まえ、Microsoft Teamsを活用したオンライン形式での実施となりました。日台の大学・大学院生から希望者を募り、日本・台湾それぞれ12名ずつ計24名の学生が参加しました。座談会の最後にはディスカッションの総まとめとして台湾側参加者は日本語、日本側参加者は中国語での発表も行いました。

【当日の様子】

初日はまず一人ずつ自己紹介からスタート。「日本のアニメを見て日本文化に興味を持った」「短期留学経験がある」など、日台交流に興味を持つきっかけとなったエピソードで盛り上がりを見せていました。最初は緊張した表情を見せていた参加者たちも、お互いの人となりを知ることによって徐々に打ち解け、和やかな雰囲気の中でグループディスカッションへと進むことができました。

第1回のテーマ、「将来のキャリアについての希望とその理由」は、大学生・大学院生の参加者にとってまさに今直面している問題で、4グループに分かれた参加者たちは自分の考える夢とキャリアについて語り合い、お互いに対する理解を深めていきました。長期に渡って選考が何度も続く日本の就職活動に驚いている台湾側の参加者の声も聞かれました。

第2回のテーマ、「わたしたちの恋愛観と結婚観」では日本で話題になったテレビドラマ「逃げるは恥だが役に立つ」などを例に挙げ、結婚のあり方等についてのディスカッションが続きました。「外見よりも価値観や性格が合うことを重視したい」という意見は日台の参加者ともに共通していて印象的でしたが、「そもそも結婚したいとあまり思っていない」という意見も多く、日台に共通する時代の変化も感じられました。また、日台で制度が異なっている夫婦同姓・別姓問題についても参加者それぞれの見解を話し合いました。

日本でのインターンシップを新型コロナウイルスの影響で諦めざるをえなくなってしまったという台湾側参加者もいる中、2日間という短い時間ではありましたが、お互いに顔を見ながら意見を交わすことで同世代のリアルな文化や価値観を知ることができる大変貴重な機会となりました。



▼2日間の交流をまとめた動画を作成いたしました！！

対面での交流が難しい情勢のなか、大学生がオンラインコミュニケーションによりお互いに理解を深めていく様子をぜひご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=opPJ7siQU2c>

【対日理解促進交流プログラム「JENESYS2020」について】

対日理解促進交流プログラムは、日本と大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で、対外発信力を有し、将来を担う人材を招聘・派遣し、政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等に関する対日理解の促進を図り、外交基盤の拡充を目的とした外務省の事業です。

「JENESYS2020」は上記プログラムのうちアジア大洋州各国・地域を対象とした事業です。